

諮問第4号

人権擁護委員の候補者の推薦について

下記の者を人権擁護委員の候補者として推薦したいので、人権擁護委員法
(昭和24年法律第139号)第6条第3項の規定により議会の意見を求める。

令和8年9月1日提出

山陽小野田市長 藤 田 剛 二

記

住 所 山陽小野田市中川二丁目6番27-1号

氏 名 河 内 平 文

生年月日 昭和32年6月21日

提案理由 河内平文委員の任期が令和8年12月31日をもって満了する
ため

(参 考)

○ 人権擁護委員法

(委員の推薦及び委嘱)

第6条 人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する。

2 略

3 市町村長は、法務大臣に対し、当該市町村の議会の議員の選挙権を有する住民で、人格識見高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護について理解のある社会事業家、教育者、報道新聞の業務に携わる者等及び弁護士会その他婦人、労働者、青年等の団体であつて直接間接に人権の擁護を目的とし、又はこれを支持する団体の構成員の中から、その市町村の議会の意見を聞いて、人権擁護委員の候補者を推薦しなければならない。

4～8

(委員の任期)

第9条 人権擁護委員の任期は、3年とする。但し、任期満了後も、後任者が委嘱されるまでの間、その職務を行う。

○ 現在の委員

能 勢 俊 勝 (R8. 7.1 ～ R11. 6.30)

長 岡 忠 男 (R8. 7.1 ～ R11. 6.30)

川 崎 祥 子 (R8. 7.1 ～ R11. 6.30)

◎ 河 内 平 文 (R6. 1.1 ～ R8. 12.31)

青 木 恵 子 (R7. 1.1 ～ R9. 12.31)

江 中 幸 夫 (R7. 1.1 ～ R9. 12.31)

通 山 京 子 (R7. 1.1 ～ R9. 12.31)

磯 谷 美津子 (R7. 1.1 ～ R9. 12.31)

岩 間 眞知子 (R8. 1.1 ～ R10. 12.31)

山 本 福 代 (R8. 1.1 ～ R10. 12.31)

経歴

現住所 山口県山陽小野田市中川二丁目6番27-1号

こ うち ひら ふみ

河 内 平 文

昭和32年6月21日生(69歳)

學 歷

昭和56年 3 月 山口大学文理学部卒業

歷 職

昭和 57 年 4 月

 $\sim$

荻市立荻第一中学校

昭和 6 2 年 3 月

昭和 62 年 4 月

 $\sim$

須佐町立弥富中学校

平成 4 年 3 月

平成 4 年 4 月

 $\sim$

厚狭郡楠町立船木中学校

平成15年 3 月

平成15年 4 月

 $\sim$

美祢市教育委員会学校教育課指導主事

平成18年 3 月

平成 1 8 年 4 月

}

山口市立大内中学校教頭

平成 2 1 年 3 月

平成 2 1 年 4 月

}

山陽小野田市立厚狭中学校教頭

平成 2 4 年 3 月

平成 2 4 年 4 月

}

山陽小野田市立高千帆中学校教頭

平成 2 6 年 3 月

平成 2 6 年 4 月

}

美祢市立秋芳北中学校校長

平成 2 8 年 3 月

平成 2 8 年 4 月

}

美祢市立伊佐中学校校長

平成 3 0 年 3 月

平成 3 0 年 4 月

}

山陽小野田市立厚陽中学校（再任用）

令和 元年 3 月

令和 元年 4 月

}

山陽小野田市立竜王中学校（再任用）

令和 3 年 3 月

令和 3 年 4 月

}

山陽小野田市赤崎公民館長

令和 4 年 3 月

令和 4 年 4 月
}

山陽小野田市小野田地域交流センター長

令和 5 年 3 月

令和 5 年 4 月
}

山陽小野田市教育委員会心の支援室

現在

公 職 歴

令和 6 年 1 月
}

人権擁護委員

現在

諮問第4号参考資料



(氏名) 河 内 平 文

令和8年（2026年）9月1日

河内 平 文

人権擁護委員としての抱負

このたび、人権擁護委員として推薦していただくにあたり、責務の重大さを感じております。

私は、長年、初等中等教育にかかわる者として、学校現場における人権教育、いじめ問題に真摯に取り組んでまいりました。

また、令和6年より人権擁護委員として相談活動、人権教室をはじめとする人権啓発、研鑽を深めるための研修に取り組んでまいりました。

現在、少子高齢化に伴い、地域コミュニティの求心力が低下し、児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待などの問題が顕在化する一方、SNSによるいじめや差別、国際情勢を反映したヘイトスピーチ、加えて、LGBTに対する対応など新たな人権課題も生まれてきています。

今後は、これまでの経験を生かし、人権擁護と啓発を通して人権侵害を許さない人の育成を中心に尽力したいと思います。

もとより、微力ではありますが、その使命を自覚し誠心誠意努めさせていただきますので、皆様方の温かいご指導をお願いします。